

栄区役所 〒247-0005 栄区桂町303-19 ☎894-8181 (代表番号)

栄区役所の受付時間は月～金曜日(祝日、12月29日～1月3日を除く)の8時45分～17時です。第2・4土曜日9時～12時も戸籍課・保険年金課・子ども家庭支援窓口で一部業務を行っています。詳しくはお問い合わせください。

栄区のいま (平成30年4月1日現在) 人口 120,382人 世帯数 51,039世帯
編集・発行: 広報相談係 ☎894-8335 894-9127 sa-koho@city.yokohama.jp



ハチの巣は早期発見して駆除しましょう

ハチは農作物や樹木につく害虫の幼虫を食べたり、受粉を助ける役割を持っています。巣を刺激しない限り、ハチから人を刺しにくることはありません。しかし、日常生活に支障がある場合は駆除が必要です。

巣の駆除について

ハチの巣はあつという間に大きくなります。巣がまだ小さいうちに駆除すると、危険も少なく、費用も比較的安く済みます。また、大きくなった巣の駆除は、専門業者に依頼しなければ危険な場合もあり、相応の料金がかかります。時々家の周りを見てみましょう。ハチの種類、防護服や駆除器具の貸出し、専門業者などハチに関することをご不明なことは生活衛生係にお問い合わせください。



蚊には刺されないように注意しましょう

蚊の発生でお困りの人は、家の周りをチェックし、蚊の発生場所となる水がたまる場所をなくしましょう。また、海外旅行では、デング熱やジカ熱など蚊に刺されて感染する病気が流行している地域があるので、刺されないように対策をしましょう。

生態

1回に数十から数百個の卵を水面に産みます。幼虫(ぼうふら)は1～2週間水の中で生活し、成虫になります。成虫は約1か月間生きますが、この間に、雌の蚊は1～4回ほど吸血・産卵・吸血のサイクルを繰り返します。

対策

発生源の水たまりをなくすことが、蚊の発生を抑える有効な対策です。

水のみたまりやすい所



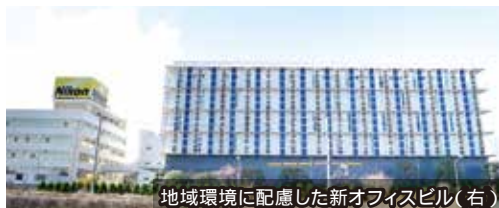
刺されない対策

肌の露出をできるだけ避け、虫よけ剤(有効成分:DEETやイカリジンを含むもの)を使いましょう。茂みややぶなどに不用意に近づかないようにしましょう。

☎生活衛生係 ☎894-6967 fax 895-1759

栄区内の元気な企業! ニコン横浜製作所 生物多様性への取組みをはじめました

ニコンは昨年7月に創立100周年を迎え、同年9月には横浜製作所で操業開始50周年を迎えました。同製作所では顕微鏡・測定機に加え、フラットパネルディスプレイを製造する装置など、様々な産業用製品を研究・開発しています。



JRの車窓から見える新しい建物は、つたを使用したグリーンカーテンや屋上の緑地化等で壁面を断熱化、さらに太陽光発電システムや、LED照明等を導入し、消費電力を削減し地域環境に配慮しています。

また、昨年9月には上郷町の「横浜自然観察の森」で生物多様性研修を実施しました。研修は、緑豊かな横浜を次世代に引き継ぐための「横浜みどりアップ計画」に基づいて行われ、「横浜自然観察の森」の皆さんのご指導のもと、外来種のセイタカアワダチソウの駆除などに取り組みました。

今後とも様々な活動を通して栄区の生物多様性に貢献していきたいと思っています。

繁殖力が強く、日本古来の植物を減少させ、生態系に悪影響を与えている植物



☎企業に関する問合せ
株式会社ニコン 横浜製作所(長尾台町471)
☎853-8400 fax 853-8470

☎広報相談係 ☎894-8335 fax 894-9127

友好交流通信

青森県南部町の歴史探訪 『法光寺と国内最大級の三重の塔』

今回は2015年に栄区との友好交流協定を結んだ「青森県南部町」をご紹介します!

南部町は、青森県の南東に位置する自然豊かな町で、四季折々の果樹栽培が盛んなほか、南部藩発祥の歴史文化を今に伝える町です。

南部町にそびえ立つ名久井岳山麓の名刹「白華山法光寺」は、今から約700余年前、鎌倉執権・北条時頼公が創立したと伝えられています。その境内に、1949年に建立された「承陽塔」は、高さ33メートルで、三重の塔としては国内最大級です。2017年6月28日には、「承陽塔」が国登録有形文化財に登録され、多くの旅人が訪れる観光名所となっています。



また、毎年5月にお釈迦さまの生誕を祝い行われる稚児行列は、冠が春の陽光に輝き、薄紅の衣が雅な雰囲気を醸し出します。

☎南部町役場商工観光課
☎0178-84-2119 fax 0178-84-2592
【交流に関すること】生涯学習支援係
☎894-8395 fax 894-3099

栄消防たち通信

オレンジの誇りを胸に!

～栄区を守る屈強な隊員たち～

今回は、栄区に配置されている「豊田特別救助隊」を紹介します。

特別救助隊とは、各区に1隊配置されている救助専門の部隊で、栄区は栄消防署豊田消防出張所(飯島町)に配置されています。消防隊には配置されていない特殊な資機材や装備を保有しており、火災だけでなく交通事故等の各種救助事案にも出場する精鋭部隊です。

トレードマークの「オレンジ色」の救助服を身にまとい、救助工作車と呼ばれる車両には、「YRC 横浜レンジャーの略」の文字が大きく刻まれているのも特徴の1つです。災害現場の最前線で活動することも多く、「きつい・疲れた・もうだめだでは、他人の命は救えない」という言葉を噛みしめ、日々厳しい訓練に励んでいます。

救助発祥の地でもある横浜市。先人が築いてきた足跡と、脈々と受け継がれてきたレンジャー精神を引き継ぎ、「救助隊としての誇り」を胸に、これからも栄区の安心・安全を守ってまいります。



